

議会だより たのはた

No.
142
2025.2.14
岩手県田野畑村議会



12 月定例会

- 2 令和6年度一般会計補正予算などを可決
- 3 議案ピックアップ
- 4 ここが聞きたい！一般質問
- 8 みんなのスマイル

伝統の舞、軽やかに

田野畑村教育のつどいが、1月18日アズビィホールとアズビィ楽習センターで行われました。オープニングでは、甲地鹿踊、大宮神楽、菅窪鹿踊が披露され、会場を沸かせました。(写真は羅賀地区の子どもたちによる大宮神楽)

令和6年度一般会計補正予算などを可決

12月
定例会

第7回定例会が12月6日から10日までの会期で開かれました。村長提案の議案7件は、原案どおり可決。また、一般質問は、4人の議員が登壇し、村政課題、教育課題について村の考えを質問しました。

議決した主な議案など

●一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

岩手県人事委員会の勧告に鑑み、初任給調整手当、寒冷地手当及び一般職の職員の給料表について、所要の改正を行うもの。

●田野畑むらづくり基金条例の一部を改正する条例

寄付者が幅広い選択をできるように、田野畑むらづくり基金を財源として行う事業の区分を改めようとするもの（左表を参照）。

事業の区分
(1) 産業振興に関する事業
(2) 教育・文化・スポーツに関する事業
(3) 保健・医療・福祉に関する事業
(4) 少子化対策に関する事業
(5) 移住・定住促進に関する事業
(6) 観光振興に関する事業
(7) 環境保全に関する事業
(8) その他村長が特に必要と認める事業

補正予算

●令和6年度田野畑村一般会計補正予算（第8号）

9146万6千円を追加し、総額を40億1136万7千円とするもの。

〔主な内容〕

・新庁舎建設基本計画策定支援業務委託料

・田野畑地域公共交通活性化協議会補助金：185万円

・障害者自立支援給付費：1000万円

・生活困窮者原油価格・物価高騰等特別対策事業扶助費：200万円（関連記事3ページ）



灯油等の購入費を助成

・浄化槽設置整備事業補助金：102万円

・備品購入費（ロールベア1台）：800万円

・第三セクター賃上げ奨励補助金

：936万4千円（関連記事3ページ）

・道路維持事業費（道路除排雪等業務委託料など）

・公共土木施設等災害復旧測量調査設計業務委託料

・公共土木施設等災害復旧工事（過年災）

・三陸鉄道災害復旧事業費負担金：152万4千円

●令和6年度田野畑村国民健康保険特別会計補正予算（第3号）

【事業勘定】398万5千円を追加し、総額を5億8343万7千円とするもの。

〔主な内容〕

・保険給付費等交付金償還金：254万円

【直営診療施設勘定】1229万1千円を追加し、総額を1億3773万9千円とするもの。

〔主な内容〕

・需用費（医薬材料費等）：810万7千円

●令和6年度田野畑村介護保険特別会計補正予算（第2号）

【保険事業勘定】365万6千円を追加し、総額を5億6170万2千円とするもの。

〔主な内容〕

・介護サービス事業勘定繰出金：337万円

・地域密着型介護サービス給付費
…250万円

【介護サービス事業勘定】49万7千円減額し、総額を703万4千円とするもの。

〔主な内容〕

・職員人件費…△49万7千円

●令和6年度田野畑村簡易水道事業会計補正予算（第1号）

【収益的支出】営業費用として171万2千円を追加し、総額を2億2434万9千円とするもの。

〔主な内容〕

・漏水修繕費及び凍結対策修繕費…150万円

・ポンプ等動力電気料…70万円

【資本的支出】建設改良費として1385万7千円減額し、総額を1億3578万9千円とするもの。

〔主な内容〕

・水道施設耐震化等推進事業工事…△1385万7千円

●令和6年度田野畑村下水道事業会計補正予算（第2号）

【収益的支出】営業費用として298万9千円を追加し、総額を1億3784万7千円とするもの。

〔主な内容〕

・処理場動力電気料…200万円
・処理場電気料（電灯）…70万円

議案

アップ
ピック
Pick up

【補正予算】

第3セクター4社の賃上げを助成

第3セクター4社に対する賃上げ奨励補助金936万4千円の補正予算を可決しました。

これは、昨今の物価の上昇に実際の賃金の上昇が追いついていないことを踏まえ、第3セクター各社が行った賃上げ相当額に対して、村の出資割合に応じて、補助するものです。

会社別の補助予定額は、(株)陸中たのはた392万円、(一社)田野畑村産業開発公社376万

【補正予算】

一人暮らし高齢者等の灯油代を助成

生活困窮者原油価格・物価高騰等特別対策事業費として提案された補正予算200万円を可決しました。

この事業は、村民税非課税の一人暮らし高齢者世帯や障がい者世帯、ひとり親世帯、生活保護世帯を対象に、申請により1万円（タノくん商品券）を交

表1 会社別の補助予定額

会社名	補助予定額
陸中たのはた	3,920,000 円
産業開発公社	3,768,000 円
サンマッシュ田野畑	1,326,000 円
甘竹田野畑	350,000 円
合 計	9,364,000 円

8千円、(株)サンマッシュ田野畑132万6千円、(株)甘竹田野畑35万円となっています。

付し、灯油やガスなどの購入費用の一部を助成するものです。

同様の事業は県内の市町村で実施されていますが、県の補助金に上乗せすることができることから、助成額は市町村によって異なり、令和6年度は、7千円から1万5千円の範囲で助成金が交付されています。

議会のとはてな？

＜用語の解説＞

一般会計

地方自治体の行政運営における基本的な経費（例・保険医療、福祉、教育、道路、住宅、清掃、消防など）が計上される会計で、村の会計の中心をなすものです。

特別会計

特別会計は、特定の事業を行う場合や、特定の歳入歳出を一般の歳入歳出と区別して個別に経理する場合に設置する会計です。本村では、3つの事業を特別会計で経理しています。

・国民健康保険特別会計

・介護保険特別会計

・後期高齢者医療特別会計

企業会計

使用料など、事業における収入で、その事業の経費をまかなうことを目的に設置される独立採算が原則である会計です。本村では、2つの事業を企業会計で経理しています。

・簡易水道事業会計

・下水道事業会計

ここが聞きたい！一般質問

第7回定例会の一般質問は12月6日に行われ、佐々木伸議員、畠山智議員、小野協次議員、中村勝明議員の4人（登壇順）が、村政運営や教育行政について村の考えを問いました。

質問者	質問項目
佐々木 伸	◆(株)陸中たのはたの経営状況を伺う ◆ホテル羅賀荘は、営業方針の刷新が必要と思うがどう考えているか (その他) ・広域連携での企業誘致の状況 ・道の駅たのはたエリア機能強化プロジェクトチームの取り組み状況 ほか1件
畠山 智	◆新卒者の就職応募状況を伺う ◆道の駅敷地へのコンビニ出店に何か動きはあるか伺う
小野 協次	◆庁舎建設に係る事業費を村民に提示すべきと思うがどうか ◆小中一体型の検討について、必要な施設の在り方をどう考えるのか伺う (その他) ・6年度のふるさと納税は、5年度と比較してどのように推移しているか ・第3セクターの第二四半期までの経営内容をどのように捉えているか ほか3件
中村 勝明	◆介護施設の雇用対策の把握と対策をどう考えているか ◆農産物価指数の状況を踏まえ、物価高騰対策が必要と思うがどう考えているか (その他) ・村職員の退職等の理由をどう認識 ・今後の国保税の見通しは ほか6件

(株)陸中たのはたの経営状況を伺う

村長…上半期の営業実績達成率は計画の95.1%
下半期は営業地域拡充などで挽回したい



佐々木 伸^{議員}

【問】陸中たのはたの課題となっている事業効率の改善や収益強化など経営状況を伺う。

【村長】経営改善計画に基づき、ホテル部門については、原価率の見直し、人員配置の効率化による人件費抑制、営業活動の強化や独自キャンペーンを行っており、一定の効果が表れている。

しかし、8月に相次いだ台風や三陸鉄道とJR山田線が不通となった影響により、上半期の営業実績は計画の95・1%の達成率となった。下半期は、独自キャンペーンの営業地域の拡充、年末年始の利用促進策の展開により挽回したい。

観光船部門は、料金の引き上げにより一定の収支改善が図られたが、11月に通常運行が終了し、収支はマイナスとなっている。

【問】ホテル羅賀荘は、集客力の向上や時代に合った施設整備の在り方の検討、営業方針の刷新が必要と思うが如何に考えているか。

【村長】昨年度策定した経営改善計画に基づき、人員配置の効率化、サービスの見直し、デジタル技術の活用などを順次進め、経営改善を図っていく。その上で、設備更新、新たなシステム導入などは、費用対効果や他施設の状況などを総合的に勘案し、検討したい。

営業方針については、当地域は、国内の団体旅行のお客様や旅行会社から根強い支持があるので、既存のお客様を大切にしながらも、ネット広告やSNSでの情報発信により、新規の顧客を開拓していきたい。

役場・3セクの就職応募状況は

村長…役場の採用募集に対する応募は1名
第3セクター各社は数名を中途採用



畠山 智^{議員}

【問】役場と第3セクターへの新卒者の就職応募状況を伺う。

【村長】役場の令和6年度採用募集においては、10名の応募があった。うち新卒者は1名で、採用も新卒者1名となっている。

7年度採用の募集では、4名の応募があり、新卒者は1名で、採用内定者も新卒者1名となっている。

第3セクターでは、陸中たのはたは、令和6年度と7年度採用として、新卒者を各3名募集したものの応募者はなく、本年度に1名を中途採用している。

田野畑村産業開発公社は、6年度に4名募集したが、採用した3名はいずれも中途採用となっている。現在、7年度採用1名を募集しているが、新卒者に限定した募集とはなっていない。

甘竹田野畑、サンマッシュ田野畑は、両社とも6年度採用募集への応募がなく、採用者はいずれも中途採用の各2名と伺っている。

【問】道の駅へのコンビニ出店について、何か動きがあるのか伺う。

【村長】道の駅たのはたエリア機能強化プロジェクトチームでは、出店を望む声があることも踏まえ、道の駅たのはた敷地に商業機能強化エリアを設定している。

今後は、商工会等とも協議を行いながら、敷地の利用手続き等を具体的に定め、田野畑チェーンベースのインターチェンジ化のタイミングに合うよう、出店者の募集や交渉を加速していきたい。

庁舎建設に係る事業費を示すべき

村長…基本計画において概算事業費を算出
広報等を通じ村民にお示しする考え



小野 協次^{議員}

【問】庁舎建設について、現小学校施設の活用や財政への懸念の声がある。解体費も含めた事業費・財源を村民に示すべきと思う。

【村長】現時点では、村で唯一の小学校を、役場庁舎の都合に合わせて移転させる考えは持っておらず、また、中学校校舎の規模や建設経過年数からも、施設の大規模改修や増築を伴うような移転を行うべき理由はないと思っている。財源については、庁舎および公共施設整備基金のうち、建設に充てる事業費として10億円ほどの財源を確保している。関連予算を提案している新庁舎建設基本計画の策定において、解体も含めた概算費用を算出し、広報等を通じ村民にお示ししていきたい。

【問】小中施設の一体型検討について、子ども達の学びの環境をどのように作り、そのために必要な施設の在り方をどう考えるか。

【教育長】小学校には余裕教室がない状況だが、仮に将来、余裕が生じた際には、児童が自由に活動できるスペースや学習課題・テーマ別の学習など、多様な学習スタイルに応じた教室の設置を考えたい。また、放課後子ども教室の開設など、子ども達の学びや居場所づくりなどを検討したいと考えている。

小中学校の施設を一体化し、その中で機動性の高い教育を進めることも有効な手立ての一つですが、広い空間で個々の能力や特性を十分に発揮させた学びを可能としていくことで、大きな人間へと育てていくことを田野畑の教育の今後の方向性と考え、そのあり方を検討していきたい。

介護施設の雇用対策の把握と対策は 村長…介護職の人手不足は全国的な課題 就学金制度を拡充し解消に努める



中村 勝明^{議長}

【問】介護施設の雇用対策について、どう把握し独自対策をどう考えているか。

【村長】介護職の人手不足は、全県、全国的な課題と捉えている。村内では、3つの施設のうち2施設で介護員と看護師の募集をしているが、人員の充足には至っていない状況にある。各施設では、国の処遇改善加算の制度を利用し、介護現場で働く方々の環境改善に努めている。

村では毎年、介護職員初任者研修を開催しており、直近の3年間で、受講者のうち6名が村内の施設で勤務している。

また、福祉人材については、村独自の奨学金の返還免除制度を拡充（職種制限の撤廃）し、人手不足の解消に努めている。

【問】農作物価指数の状況を踏まえ、物価高騰対策が必要と思うがどう考えているか。

【村長】園芸農家に対しては、本年度当初予算に計上している園芸農家活性化支援補助金により、生産物出荷に係る資材経費の一部を支援している。

畜産農家に対しては、国・県の直接支援も行われているが、長引く物価高騰と子牛価格の低迷に加えて、村内において、春先の雨不足により一番草の収穫量が大幅に減る事象が発生したため、9月補正予算にて粗飼料確保対策緊急支援事業の予算を措置した。

今後も、国の物価高騰対策に係る補正予算の動向や産業間のバランスも見ながら、適切な産業振興対策や物価高騰対策を検討・実施していく。

12月定例会で決まったこと

議案番号	議案名等	審議結果
議案第1号	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決
議案第2号	田野畑むらづくり基金条例の一部を改正する条例	可決
議案第3号	令和6年度田野畑村一般会計補正予算（第8号）	可決
議案第4号	令和6年度田野畑村国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	可決
議案第5号	令和6年度田野畑村介護保険特別会計補正予算（第2号）	可決
議案第6号	令和6年度田野畑村簡易道事業会計補正予算（第1号）	可決
議案第7号	令和6年度田野畑村下水道事業会計補正予算（第2号）	可決

研修活動

宮古地区広域市町村議会連携会議（会長・橋本久夫宮古市議会議員）と東部町村議会議長会（会長・昆暉雄山田町議会議員）の議員研修が行われました。ここでは、本村議会の議員が参加した2つの研修事業の概要を報告します。

宮古地区広域市町村議会連携会議

「宮古広域の振興」をテーマに研修

宮古地区広域市町村議会連携会議の議員研修は1月27日、岩泉町役場を会場に、宮古広域の4市町村議会から議員51名が参加して行われました。

研修会では、講師に岩手県沿岸広域振興局の植野歩未副局長を招き、「宮古広域の振興について」講演をいただきました。

植野副局長は、自身三度目とな



宮古広域振興局の植野副局長

る沿岸勤務の経験に触れながら、「各市町村が優位性のあるもの、通し合う補完連携が全体の振興につながる」と講演。また、「地域の課題解決のため、積極的に新規施策に取り組み全国に発信する先進自治体に」「まずはやってみる柔軟な考え方が大切」など、各市町村への期待を話していました。

研修会の後には講師を交えた情報交換会も設けられ、議員間で意見や情報の交換が行われました。

宮古地区広域市町村議会連携会議：

宮古広域の振興と住民福祉の向上を目的に平成31年4月に設立。管内市町村議会の正副議長で構成。共通する行政課題の調査や研究、議員研修活動等に取り組んでいる。

東部町村議会議長会

テーマは「海洋環境の変化」 サケ回帰率に与える影響は

東部町村議会議長会の議員研修は2月7日、大槌町の「三陸花ホテルはまぎく」を会場に、本村議会を含む普代村から大槌町までの5町村議会の議員47名が参加して行われました。

研修会のテーマは、近年大きな問題となっている海洋環境の変化です。東京大学大気海洋研究所の藤井賢彦教授に講師をお願いし、「地球温暖化と海洋酸性化が海洋生物と沿岸社会に及ぼす影響」と題して講演していただきました。

藤井教授は、「三陸沖の海水温の上昇は、他海域と比べて顕著。黒潮大蛇行が海水温を下げる親潮の南下を阻んでいる」「サケが好む水温帯（5～13度）が、日本近



環境変化のメカニズムを講演する藤井教授

海になくなってきている」「海水温上昇で海洋生物の分布が変化」「貝類や甲殻類に影響を及ぼす海洋酸性化も懸念される」と分析。そして、「私たちが起こしている問題であるならば、私たちができる手立てがあるはず」と話し、問題の要因である二酸化炭素排出の迅速な削減とともに、新たな魚種の活用など、順応的な取り組みも必要と講演しました。

東部町村議会議長会：沿岸の5町村

（大槌町、山田町、岩泉町、田野畑村、普代村）の各町村議会の正副議長で構成。国・県への要望事項の調製、視察活動や議員研修、顕彰活動等に取り組んでいる。昭和39年6月設立。

みんなのスマイル😊



たかはし のぶゆき
高橋 信行さん
(和野・42歳)

◆趣味は

ダーツやアニメ、そして子どもが野球をしているので追っかけをすることです。

◆村や議会に期待することは

新規起業にあたって、テナントや施設等を設置して、初期費用を抑えることができる施策があれば、もっとチャレンジしやすくなると思います。

◆スマイル、元気の源は

家族や地域の方、お客さんとの会話でいつも元気をもらっています。お弁当やお惣菜がおいしかったと言ってもらえたときは最高です。

◆最後に一言お願いします

流通ストアオリジナルの「のぶちゃん」の鶏唐揚げ」がオススメです。ご来店お待ちしております。

請願や陳情の提出方法

村民の皆さんの意見や要望を村政に反映させる方法として、請願・陳情があります。請願・陳情は、次の手順で議会に提出してください。

- ① 請願書・陳情書は議長宛とし、要旨や理由を簡潔に分かりやすく書いてください。
- ② 提出年月日、提出者の住所・氏名を書いて、押印してください。
- ③ 請願は、一人以上の紹介議員が必要です。紹介議員となる議員の署名または記名・押印をしてください。
- ④ 紹介議員がないときは、陳情書として提出してください。
- ⑤ 道路や建物などに関する意見・要望は、簡単な地図、略図、図面などを添付してください。
- ⑥ 請願と陳情（議長が必要であると認めるもの）は、定例会で審査されます。定例会予定月の前月中旬までに提出してください。

【提出、問い合わせ先】 議会事務局（田野畑村田野畑143-1 電話34-2111（内線90））

あとがき

今年の年末年始は、比較的穏やかな天候に恵まれ、良い一年を過ごさせさせるような年明けとなりました。

一方、国内では大雪、海外では火災など、未だに多くの自然災害が発生しております。これは、人間の知恵、忍耐、協力が試されているのではないかと感じております。

本村においては、消防出初式、教育のつどい、新春のつどい等が開催されました。子どもたちから大人まで、凛とした立ち居振る舞いを目にし、身の引き締まる思いがしました。

これからも村議会への多くのご意見をお寄せいただき、村民と共に住みやすい村づくりを目指してまいります。

（広報公聴常任委員会

委員 上村浩司）